

# Market Watching

発表日: 2020年11月24日(火)

## コロナ感染拡大第3波に悩む日米(マーケットウィークリー)

～ワクチン普及の期待と経済活動抑制の不安の狭間で不安定な展開継続か～

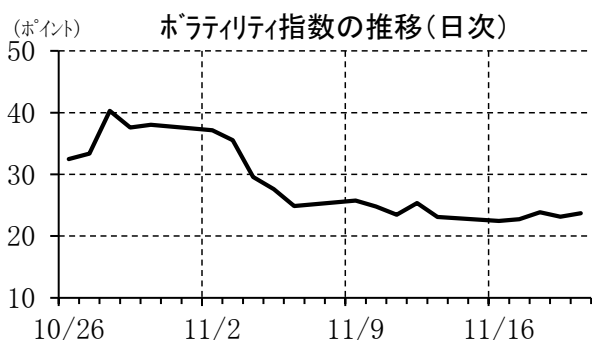
第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

### 【先週の市場動向】

#### 先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
11月16日(月)	日本: 実質GDP (7-9月・一次速報)	+21.4%	+18.9%	▲28.1%	前期比年率
	中国: 鉱工業生産 (10月)	+6.9%	+6.7%	+6.9%	前年比
	中国: 小売売上高 (10月)	+4.3%	+5.0%	+3.3%	前年比
	中国: 固定資産投資 (10月)	+1.8%	+1.6%	+0.8%	年初来前年比
	米国: NY連銀製造業景気指数 (11月)	+6.3	+13.5	+11.0	ポイント
11月17日(火)	米国: 小売売上高 (10月)・全体	+0.3%	+0.5%	+1.9%	前月比
	・除自動車	+0.2%	+0.6%	+1.5%	前月比
	米国: 鉱工業生産指数 (10月)	+1.1%	+1.0%	▲0.6%	前月比
	米国: 企業在庫 (9月)	+0.7%	+0.5%	+0.3%	前年比
11月18日(水)	日本: 貿易統計 (10月)・輸出	▲0.2%	▲4.5%	▲4.9%	前年比
	・輸入	▲13.3%	▲9.0%	▲17.4%	前年比
	・貿易収支	+8,729	+2,539	+6,878	億円
	タイ: 金融政策委員会	0.50%	0.50%	0.50%	翌日物レボ金利
	米国: 住宅着工件数 (10月)	153.0	144.0	141.5	万件
11月19日(木)	フィリピン: 金融政策決定会合	2.00%	2.25%	2.25%	翌日物レボ金利
	トルコ: 金融政策委員会	15.00%	14.25%	10.25%	1週間物レボ金利
	米国: 新規失業保険申請件数 (11/14終了週)	742	700	709	千件
	米国: フィラデルフィア連銀製造業景況感指数 (11月)	+26.3	+22.0	+32.3	ポイント
	米国: 中古住宅販売件数 (10月)	685	645	654	万件
	南ア: 金融政策委員会	3.50%	3.50%	3.50%	平均レボレート
11月20日(金)	日本: 全国消費者物価指数 (10月)・総合	▲0.4%	▲0.4%	0.0%	前年比
	・除生鮮食品	▲0.7%	▲0.7%	▲0.3%	前年比
	英国: 小売売上高 (10月)・除自動車燃料	+1.3%	▲0.1%	+1.6%	前月比
11月21日(土)	—	—	—	—	—
11月22日(日)	—	—	—	—	—



## 主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	0.824	▲7.2	+1.4	▲141.8	0.845	0.744	0.752
日本	0.010	▲1.0	▲1.0	+12.5	0.026	0.026	0.005
ドイツ	-0.583	▲3.6	+2.3	▲23.6	-0.584	-0.522	-0.485
豪州	0.862	▲1.9	+10.4	▲21.1	0.834	0.859	0.883
株価							
NYダウ	29263.48	▲0.7	+3.4	+5.2	28387	28117	26121
日経平均	25527.37	+0.6	+8.3	+10.3	24324	23609	21957
ユーロSTOXX50	3467.60	+1.0	+7.4	▲5.9	3252	3265	3156
上海総合	3377.73	+2.0	+1.5	+16.0	3309	3312	3102
為替相場							
ドル/円	103.86	▲0.7	▲1.6	▲4.4	104.58	105.37	106.75
ユーロ/円	123.16	▲0.6	▲1.3	+2.4	123.38	124.29	121.40
豪ドル/円	75.84	▲0.3	+2.0	+2.6	75.16	75.84	72.97
ユーロ/ドル	1.1857	+0.2	+0.3	+7.1	1.180	1.179	1.138
商品市況							
WTI	42.42	+5.7	+2.3	▲25.7	39.72	40.36	35.85
金	1872.4	▲0.7	▲2.0	+27.0	1892	1915	1796

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (11/16~11/20) の金融市場は、先進各国での新型コロナウイルス感染者の拡大に歯止めがかからない状況が続く中、経済活動を制限する政策に踏み切る事例が増えており、景気への悪影響を警戒する雰囲気が高まった。世界的に債券利回りが低下したほか、米国での感染拡大とコロナ対策の強化が目立ったこともあり、為替市場では円やユーロに対してドル安が進んだ。

今週のマーケットは、引き続き新型コロナウイルスの動向に注目しよう。米国では、再び経済活動に制限をかける地域が増え始めており、景気への悪影響が単なるリスクではなく、どの程度のものとなるのかを具体的に測る段階に入り始めている。一方で、ワクチン開発も進んでおり、その有効性と普及のスピードに対する期待も高まっている。足元の感染拡大を抑えるための経済活動抑制策が再び現実のものとなり始めている一方で、ワクチンの有効性と普及に関しては不確定な部分が多い。市場がどちらに着目するかはセンチメント次第だが、過剰流動性によって“そこそこ”支えられる展開は今後も続こう。日本では、景気押し上げ効果が期待されている Goto キャンペーンの一部制限が現実のものとなりつつあり、景気の再減速懸念は高まっている。もっとも、ワクチン開発に目処が付き始めているとの期待が高ければ、“減速は一過性のもの”と処理し、過剰流動性に支えられた堅調な展開が続く余地もある。いずれにしても、市場の動きはセンチメント次第で上下どちらにも大きく振れるリスクがあり、方向感の定まらないボラタイルな展開がしばらく続こう。

## 【今週のマーケット環境】

## 今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
11月23日(月)	ユーロ：PMI製造業景気指数（11月）	53.6	53.3	54.8	ポイント
	PMIサービス業景気指数（11月）	41.3	42.0	46.9	ポイント
	米国：PMI製造業景気指数（11月）	56.7	52.5	53.4	ポイント
	PMIサービス業景気指数（11月）	57.7	56.0	56.9	ポイント
11月24日(火)	ドイツ：ifo景気動向指数（11月）	★★	90.3	92.7	ポイント
	米国：S&Pプロシツクケースシヤ住宅価格指数・20都市（9月）		+4.8%	+5.2%	前年比
	米国：FHFA住宅価格指数（9月）		+0.5%	+1.5%	前月比
	米国：消費者信頼感指数（11月）	★★★★	98.0	100.9	ポイント
11月25日(水)	米国：実質GDP改定値（7-9月期）		+33.1%	+33.1%	前期比年率
	米国：製造業受注（10月）・耐久財		+1.3%	+1.9%	前月比
	・非国防資本財（除航空機）	★★	+0.5%	+1.0%	前月比
	米国：新規失業保険申請件数（11/21終了週）	★★	733	742	千件
	米国：個人所得支出統計（10月）・実質個人消費	★	+0.2%	+1.2%	前月比
	・PCEデフレータ		+1.4%	+1.5%	前年比
米国：新築住宅販売件数（10月）	★	96.8	95.9	万件	
11月26日(木)	—				
11月27日(金)	日本：都区部消費者物価指数（11月）・総合		▲0.5%	▲0.3%	前年比
	・除生鮮食品		▲0.6%	▲0.5%	前年比
	インド：実質GDP（7-9月期）	★	▲7.5%	▲23.9%	前年比
11月28日(土)	—				
11月29日(日)	—				

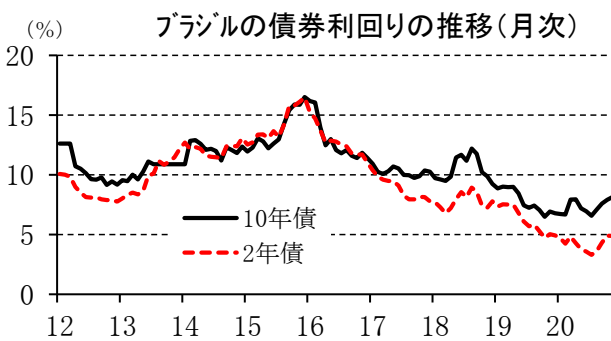
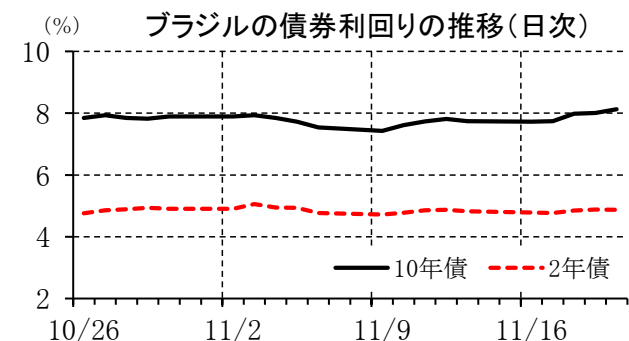
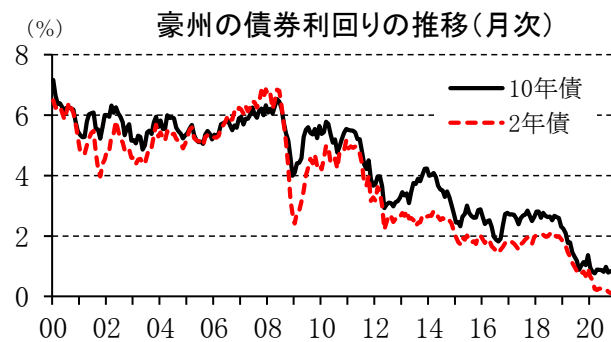
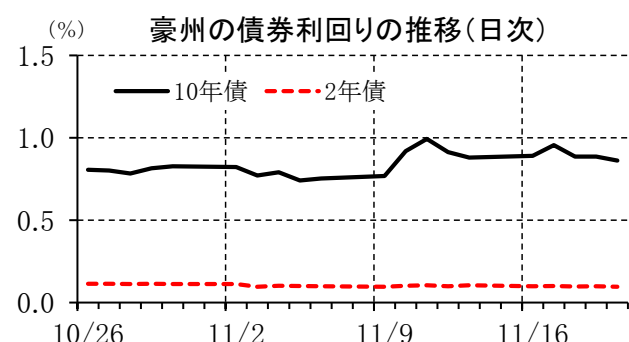
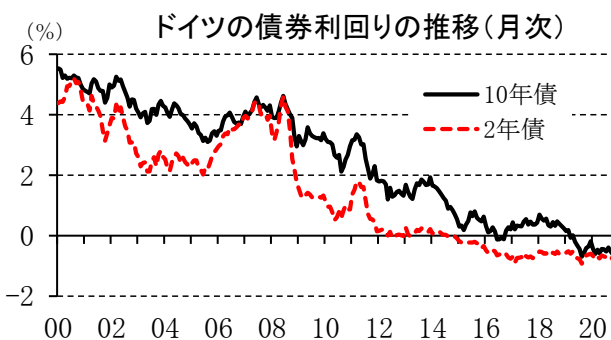
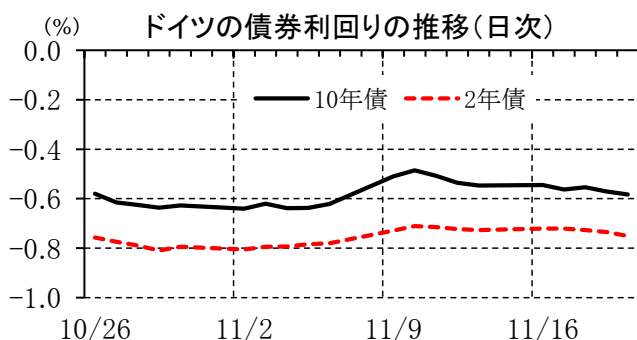
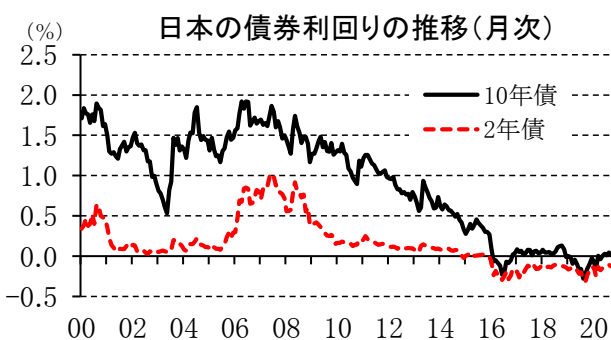
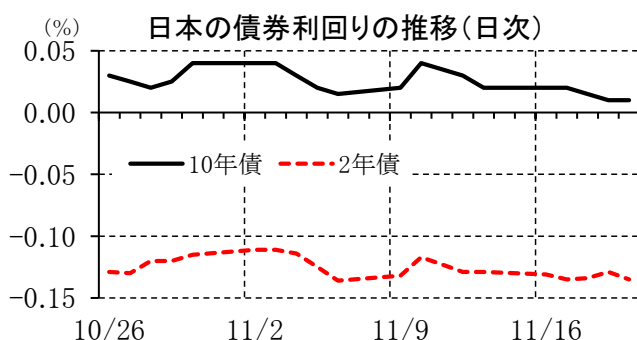
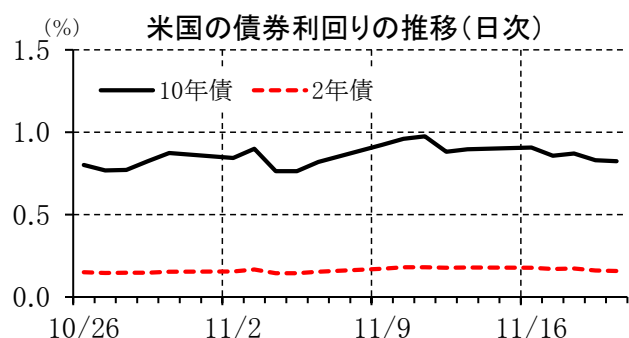
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

## その他の注目イベント・材料

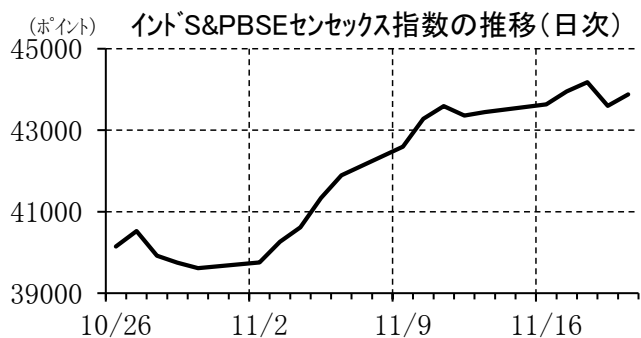
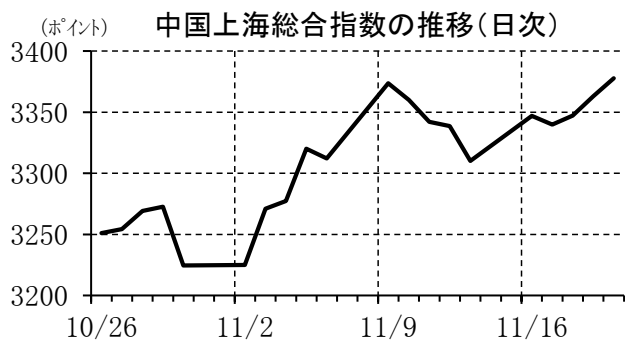
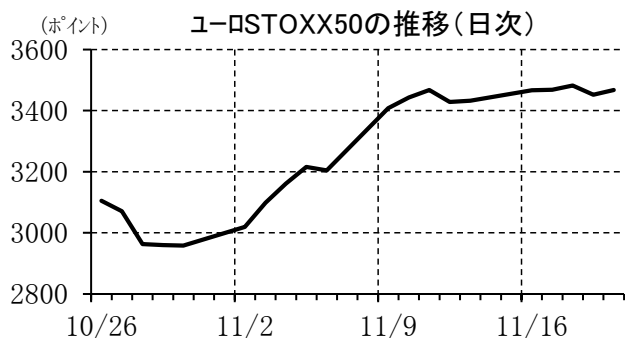
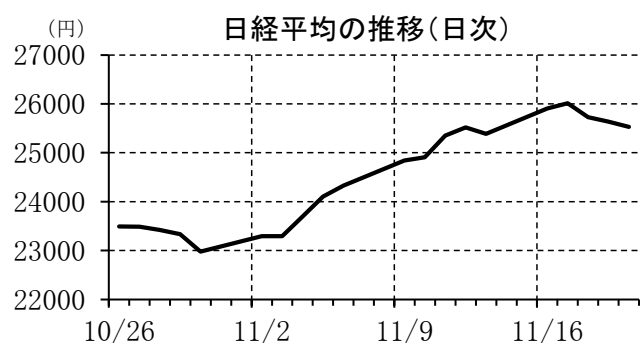
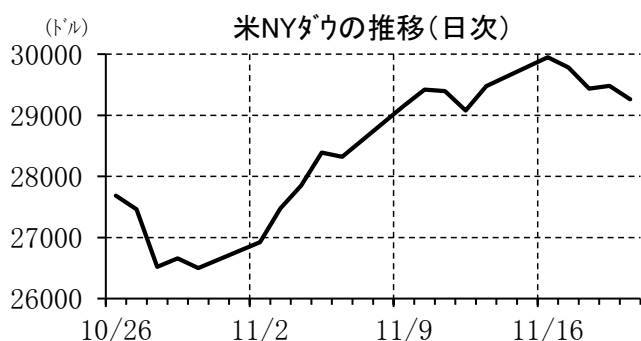
発表日	イベント	注目度	備考
11月23日(月)	日本：祝日		
	ユーロ：シュナハールECB理事講演		
11月24日(火)	日本：黒田日銀総裁講演	★★	
11月25日(水)	日本：月例経済報告		
	ユーロ：レーンECB理事講演		
	米国：FOMC議事要旨（11月分）	★★★★	
11月26日(木)	米国：祝日		
	ユーロ：レーンECB理事講演		
11月27日(金)	ユーロ：ハネックECB理事講演		
	ユーロ：シュナハールECB理事講演		
11月28日(土)	—		
11月29日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

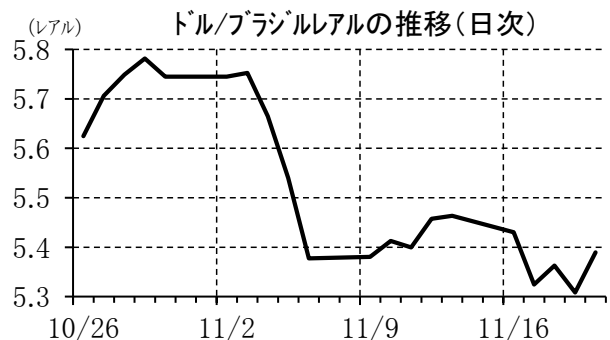
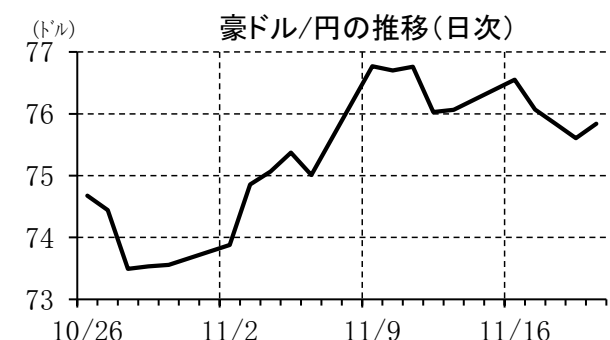
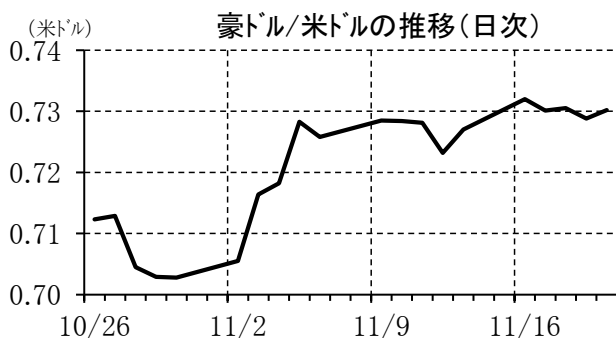
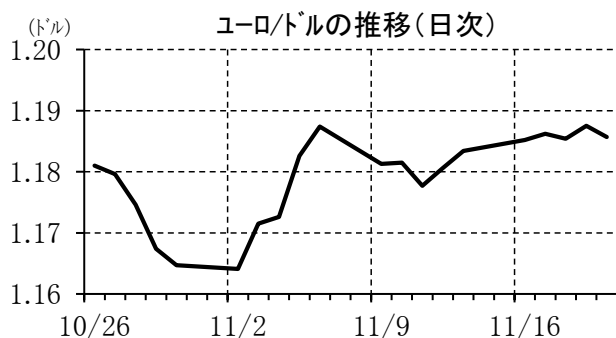
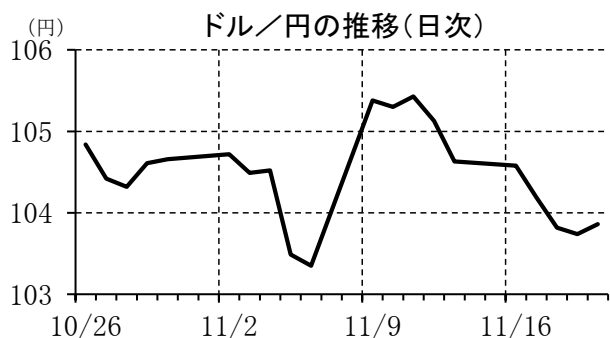
## 【債券利回り】



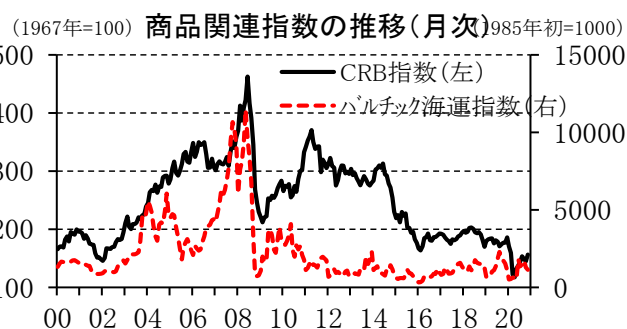
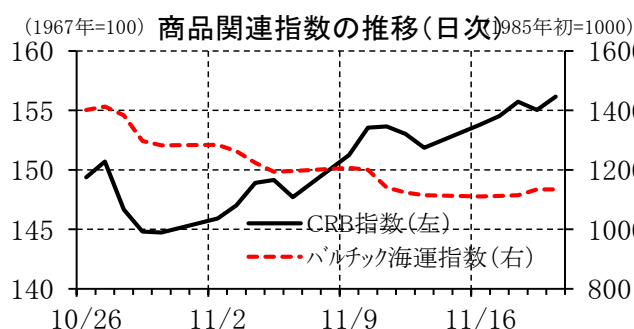
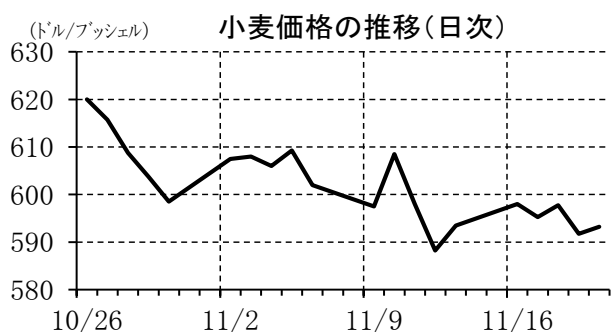
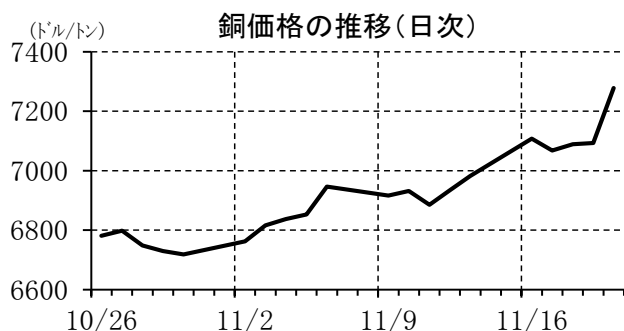
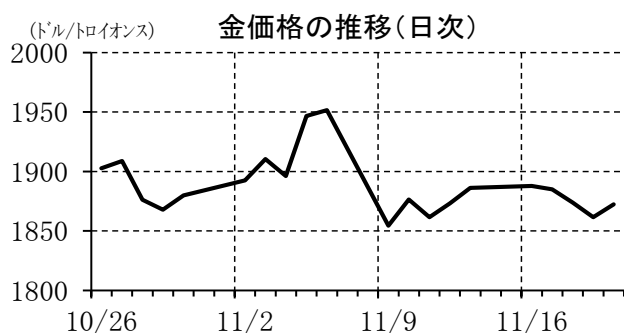
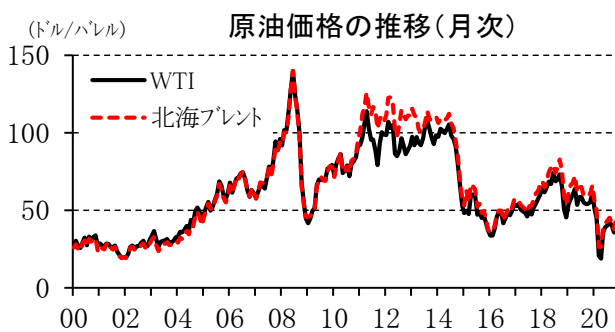
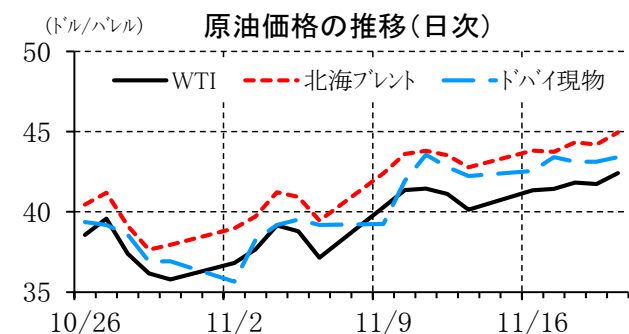
## 【株価指数】



## 【為替相場】



## 【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。